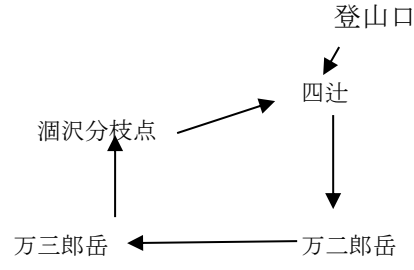


10月19日～20日 金時山・天城山

藤村 敏幸

山名	金時山・天城山	山行名	市民春山下見登山	
ルート	金時山 中央登山口→金時山→仙石原登山口 天城山 登山口→万二郎岳→万三郎岳→澗沢分岐点→登山口			
山行日	令和元年10月19日～10月20日	天候	曇り	
参加者	CL 藤村 SL 木元 会計 上田 若林			
天城山 	コースタイム			
	地名	時：分		
	金時山 登山口発	13:00	万二郎岳着	8:43
	金時山頂上	14:20	万三郎岳着	10:12
	金時山下山	16:00	澗沢分岐点着	11:20
	天城山		四辻着	12:52
	登山口発	6:45	登山口着	13:20
<p>来年の市民春山の下見登山として4名で登山する。金時山は、金時神社横に車を止め、公時神社横を通過し、緩やかな登り道を約30分程歩く。稜線手前250m頃から急な登りとなるが、道はよく整備されて登り易い道であった。雨前線が通過した後で、辺り一面ガス雲に覆われ、景色は何も見えない状態が続く。稜線に出たところが仙石原からの登山道との合流点となる。合流点から少し登ると岩場があり鎖も少しだけ取り付けられていたが、容易に登ることができた。頂上はガス雲に覆われ景色は何も見えなかった。下山は同じ道ではなく仙石原登山口に降りる。仙石原から金時神社まで登り坂の国道を約10分歩く。車の通行が多く団体で歩くには不向きな道である。</p> <p>天城山は、ハイカー向け約3時間半コースとして紹介されていたシャクナゲコースを一周まわる。天城高原ゴルフ場横の登山口から四辻までは平坦な道を歩く。四辻から万二郎岳までは川沿いに樹林帯を40分程歩き、最後に少し急坂を登り頂上に着く。万二郎岳頂上は木々に囲まれ眺望がないが、一部南側が開け伊豆半島の東側海岸線を見ることができた。万二郎岳から万三郎岳までは起伏が少ない林の中を歩く縦走路で、時々視界が開ける場所があり、そこから伊豆半島の山々を見ることができた。晴天であれば、遠く富士山から駿河湾まで見ることができる場所である。途中からブナ林の原生林の中を進み天城山の最高峰である万三郎岳に着く。頂上であるが木々に囲まれ全く眺望がない。万三郎岳から、シャクナゲがある澗沢分岐点に向かい下るが、台風19号飛来時に800ミリの大雨があったと旅館の主人が話していた通り、階段の支え木だけが残り中の砂が流されたデコボコの道が延々と続き苦勞して分岐点に着く。案内書にシャクナゲの群生地として紹介されていた場所を通るが、シャクナゲは全くなかった。分岐点から四辻までは地図で見ると等高線の間隔が狭く急斜面ではあるが、ほぼ等高線と並行に道が続き、楽ができると思ったが、台風により道が流れたのか、岩が剥き出しになった起伏の多い狭い道が扇状地形の場所まで続いていた。扇状地形から四辻までは平坦で、木肌が赤いサルスベリによく似たヒメシャラの木を多く見た。シャクナゲ一周コースが3時間半と案内されていたが、台風により道が崩れ実際は6時間30分も要した。登山歩行中に参加者で色々話しをして、団体が安全に登れるコースで、ある程度眺望も期待できる峰としては、万二郎岳を往復するのがベストであるとの結論になった。</p>				
ヒヤリハット なし				



仙石原からの合流地点



金時山頂上



万二郎岳頂上



万二郎岳から伊豆半島東海岸を望む



天城山シャクナゲコースの道標



万三郎岳頂上